



まきび進路だより

令和7年11月5日発行
岡山県立倉敷まきび支援学校
進路指導係

◎高等部 2 学期の現場実習

高等部1、2年生は9月22日～10月3日の2週間、3年生は10月10日までの3週間の現場実習を行いました。

職業コース1年生は初めての「校外集団実習」、生活コース1年生は1学期とは別の作業を行う「校内実習」、2年生は1学期とは別の事業所・会社での「校外実習」、3年生は進路先を決めていくための最後の「校外実習」でした。それぞれの生徒が、1学期の実習で得た経験や課題の解決に取り組んできたことを生かした2学期の実習だったと思います。

1、2年生は3学期にも実習があります。2学期の実習の成果と課題もしっかり振り返って次に生かせるように取り組んでいきたいです。3年生は3年間で予定していた実習が全て終わりました。今後は、移行支援会議や進路先との手続きなどが始まっていきます。

【実習の様子】

高等部1年生 校内実習、集団実習



生活コースは、製品の袋詰め、仕分け等の作業を校内で行いました。指示通りに取り組む、時間いっぱい取り組む、報告をする等、生徒ごとに目標を意識していました。

職業コースは、高齢者デイサービスの事業所やカフェ、倉庫内での集団実習を行いました。デイサービスやカフェでは様々な方と関わったり、倉庫内でピッキングや箱折りをしたりと、様々な経験をさせていただきました。

B部門は、布の裁断や生活介護の活動体験等、将来の事業所利用に向けた取り組みを行いました。

高等部2年生 校外現場実習(体験実習)



高等部2年生は2回目の個別での校外現場実習でした。1学期の実習を経て、自分が次はどのような職種、どのような場所で実習したいかを考え、保護者の方や先生と相談して決めた実習先です。

1学期は、仕事をするこのイメージがもちにくかった生徒も2学期は、前回の実習で気付いた自身の得意な面や課題等を意識して実習に取り組む姿が見え始めています。1～2年生の積み重ねで徐々に自分の進路について考えていくことができるようになっていきます。

高等部3年生 校外現場実習（進路を決めるための実習）



高等部3年生は卒業後の進路先を決めるための最後の現場実習でした。

「ここで卒業後、働きたい」と思っている生徒は、実習に取り組む姿勢が一段と前向きになり、自分から目標を意識して作業する、職場の方の指摘を真摯に受け止める、自分から報・連・相をすることを心掛けたり次の作業がないか尋ねたりするといった積極的な姿が見られます。

得意な事、苦手な事は一人ひとり違いますが、「したい、行きたい！」と生徒自身が意識することで、自分のもてる力をしっかり発揮し、将来の進路につながっていきます。

◎ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～を行いました

高等部職業コース、生活コース1年生のうち、卒業後一般企業・A型事業所希望の生徒を対象に、企業の方から仕事内容や働くうえで必要な力などについて教えていただいたり、生徒から働くことについて質問をしたりする会を行いました。映像やパワーポイント資料、実際の作業の体験を通して、仕事内容や働くうえで求められること等について、分かりやすくお話していただきました。生徒たちは、事前に考えた質問をしたり、その場で聞いた内容について確認したりしていました。

【ジョブマッチングの様子】



この行事をきっかけに、見聞きしたことのある企業で、想像していたよりも様々な仕事があることを知ったり、やってみたい仕事に気付いたりして、2年生からの現場実習や卒業後の進路について考える良いきっかけになったと思います。

【今回来てくださった企業】

アローハーネス協業組合 株式会社仁科百貨店 星光ビル管理株式会社 株式会社レイ



※上記のQRコードは、今回来て下さった企業のホームページへのリンクとなっています。会社概要等、今後の進路先を考える上での参考にしてください。